

観光地、大規模施設、イベント等の 交通状況モニタリング

観光渋滞WGの取り組み

現況

- 松島地区は、日本三景の一つであり、年間約300万人の観光客が訪れる宮城県を代表する観光地。
- 観光地周辺は、国道45号が通過しており、交通量が多く、観光シーズンをはじめ交通渋滞が著しい。

課題

- 松島地区の交通渋滞により、観光地として景観のマイナス要因や緊急車両、公共交通機関の定時性確保などの課題が生じている。

今後の取り組み方針

<課題解決の方向性>

- 観光地「松島」として相応しい、道路空間の活用を見据えた**交通社会実験を実施**(令和4年度内予定)

- ① 国道45号の大型車両及び一般車両の流入抑制
- ② 一部車線規制による賑わい空間の創出

<目指すべき姿>

日本三景松島の更なる魅力向上に向けた、
安全安心な賑わいのある道路空間の構築

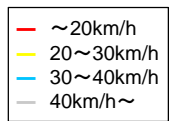
観光渋滞WGの
対象地区として、
「松島地区」を選定
(令和2年度第2回渋滞協)



○コロナ状況前の交通状況

R1GW時は、9時頃から「松島」を中心に混雑が発生し、14時頃には国道45号、県道144号に混雑が拡大。

過年度調査結果



※ETC2.0データ R1.4/27~5/6

○コロナ状況前の交通状況

R1GW時は、下り方向(仙台→松島):11時台から仙台方向(南側)の速度低下が延伸。

R1GW時は、上り方向(松島→仙台):9時台より慢性的に混雑が発生。



※ETC2.0プローブデータ R1.4/27~5/6, 時間帯別旅行速度(50mピッチ)

施設渋滞WG・イベント渋滞WG の取り組み

現況

- 利府地区周辺の(主)仙台松島線では、交通混雑が著しいことに加え、令和3年3月には、東北最大規模の大規模商業施設が開業。
- 利府地区には、宮城県総合運動公園が立地し、イベント時などには交通混雑が顕在。

課題

- 当該施設付近の(主)仙台松島線では「主要渋滞箇所」の存在や「混雑度」の高い区間であるが、交通量が増加し、速度低下区間や速度低下時間帯が拡大。

施設渋滞WG及びイベント渋滞WGの対象地区として、
「利府地区」を選定
(令和2年度第2回渋滞協)

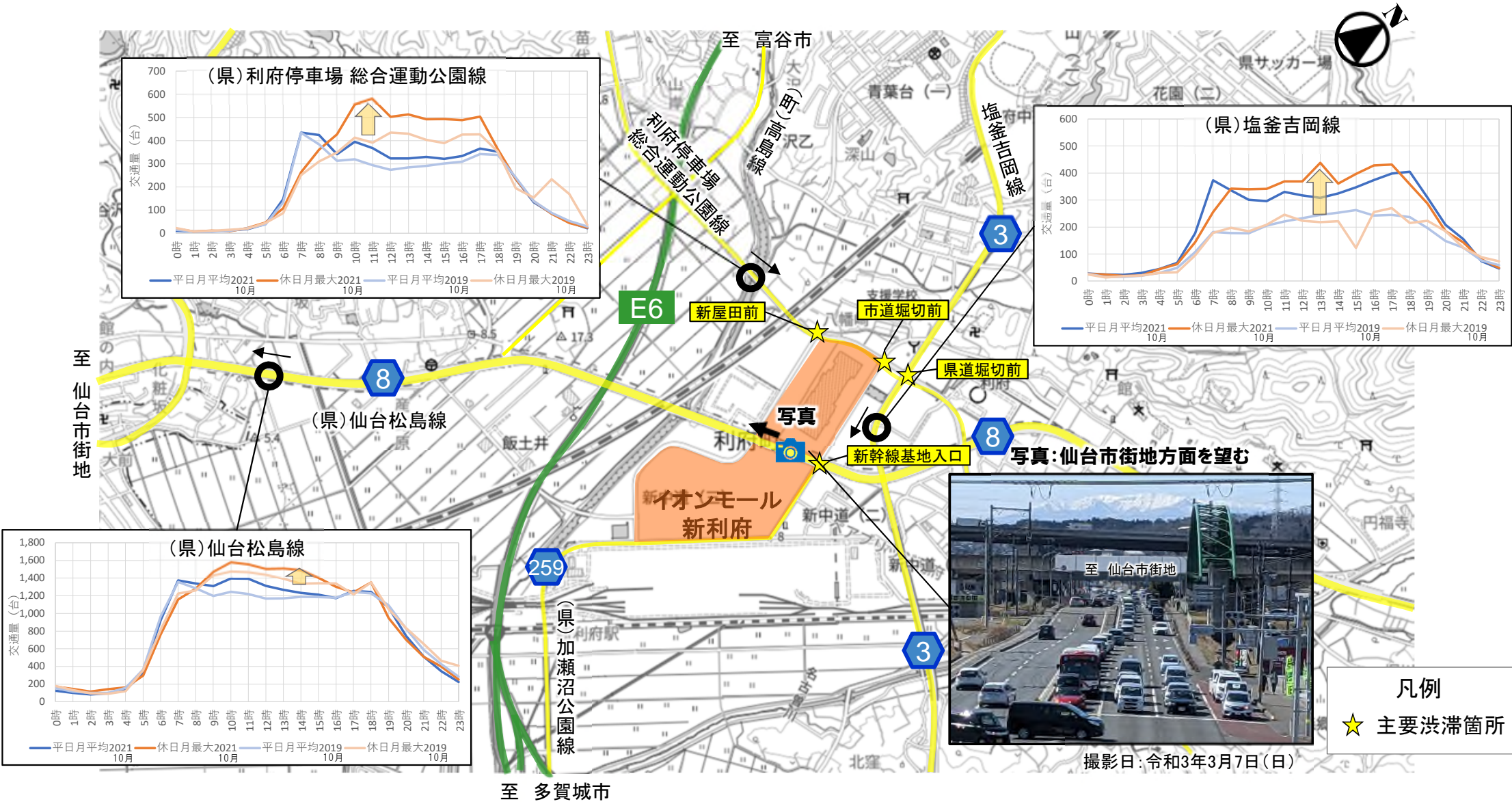
今後の取り組み方針

- これまで利府地区WGでは大規模商業施設周辺の混雑改善に向けた調査・検討を実施。
- 利府町では新たな「道路整備計画」策定に向けて、交通量調査や整備の優先度などを検討するため、今後はWGでは交通状況の分析や課題の共有、課題解決に向けた対策案について検討を行う。

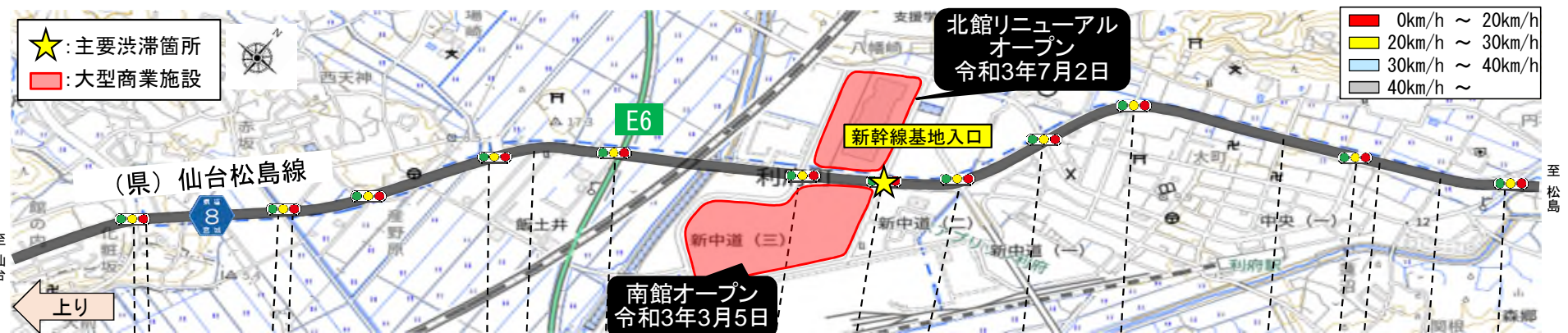
※イベント渋滞WGにおいてはコロナ事態下の影響を考慮し必要に応じ随時検討を予定

【参考】イオンモール新利府開業前後の周辺交通量

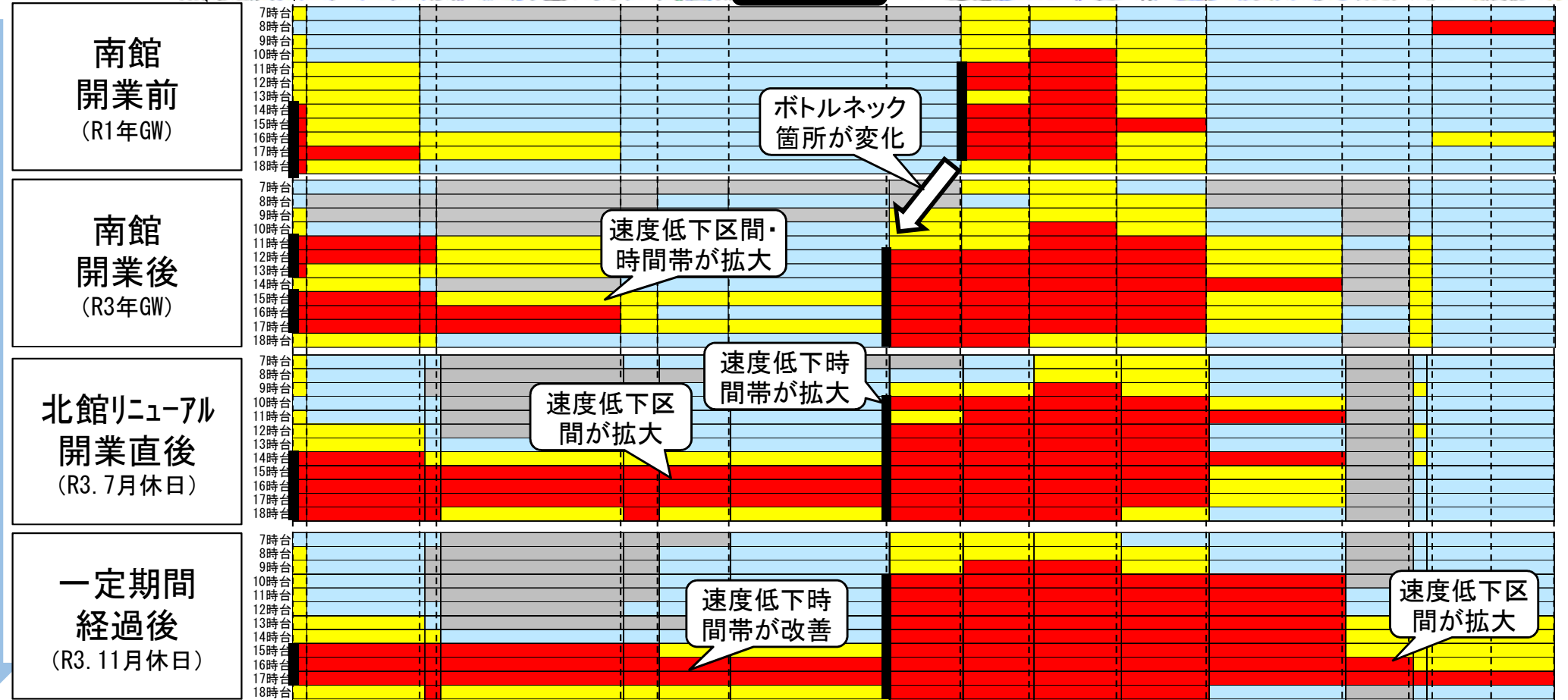
○ イオンモールの周辺道路では、開業後は開業前と比べて休日の交通量が増加。



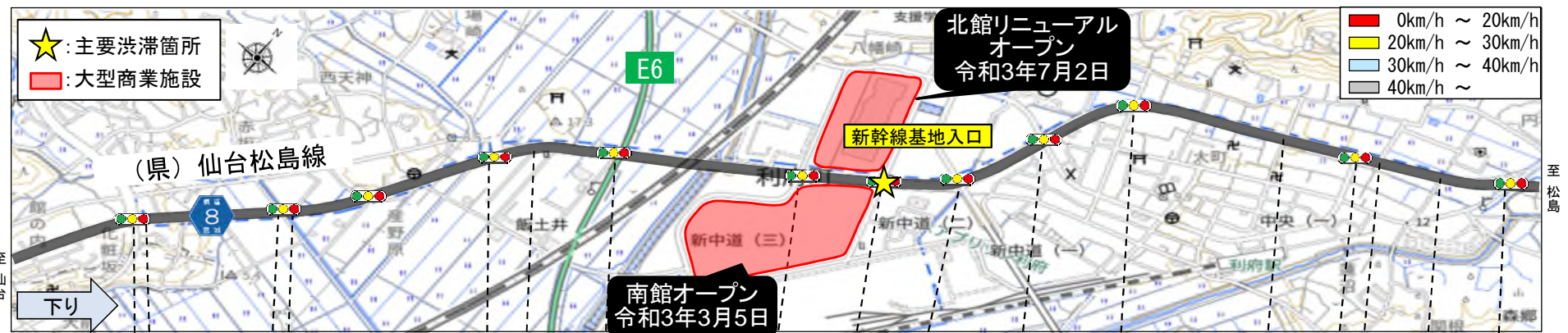
○南館開業後に県道仙台松島線(上り線)の速度低下区間が拡大。



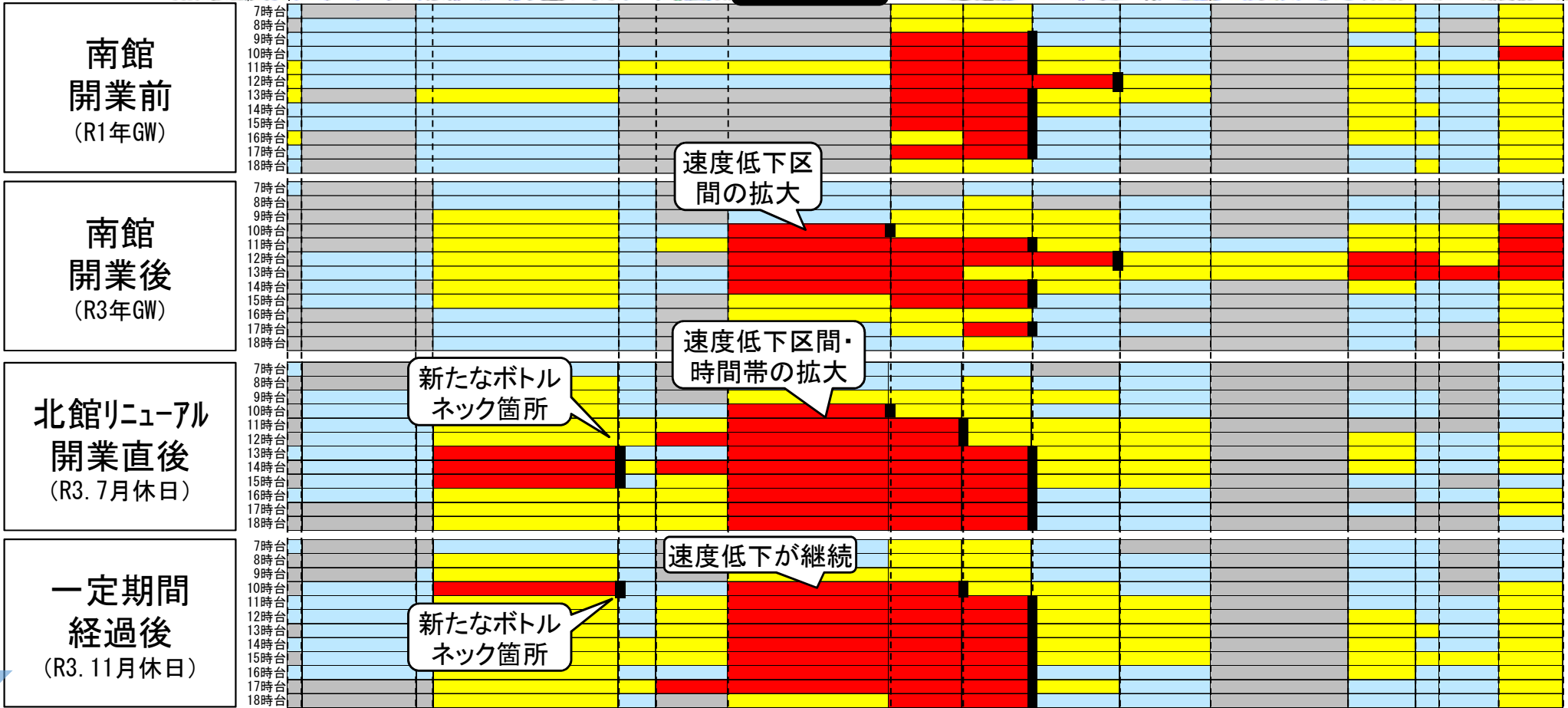
出典: ETC2.0データ
 【南館開業前】R1.4/27~5/6
 【南館開業後】R3.5/1~5/5
 【北館リニューアル開業直後】R3.7/3,7/4,7/10,7/11
 【一定期間経過後】R3.11休日



○南館開業後に県道仙台松島線(下り線)の速度低下区間が拡大。



出典:ETC2.0データ
 【南館開業前】R1.4/27~5/6
 【南館開業後】
 R3.5/1~5/5
 【北館リニューアル開業直後】
 R3.7/3,7/4,7/10,7/11
 【一定期間経過後】
 R3.11休日



至松島

【参考】道路管理者による施設渋滞対策

○令和3年に开店された大型商業施設(東北最大級)への仙台方面からのアクセス道路が不足しているため、慢性的に渋滞している県道仙台松島線のさらなる渋滞が予想される事から、その渋滞分散・渋滞緩和のため、令和2年度より事業を実施している。

実施主体 : 利府町
計画延長 : L=547.7m

